通信

発行元 社会福祉法人 はるの里 生活介護事業所 はるの里

〒615-8241 京都市西京区御陵谷町 7-1 TEL/FAX 075-394-5930 URL https://www.harunosato.com















2021年はじめてのはるの里通信をみなさまにお届けいたします。

2020年はコロナウィルス感染予防のため、なかなか今まで通りの活動を行うことは出 来ませんでした。今年は色々工夫をしながら楽しく活動を行っていきたいと思います。 コロナ禍の一日も早い収束を願いつつ、今年もよろしくお願いいたします。

ホームページは harunosato.com



で検索

空き缶回収について

いつも空き缶回収にご協力いただき、ありがとうございます。 仲間(利用者)のリサイクル活動による101,000円でした。 収益金は、仲間の給料となります。

「もっとお仕事がしたい」「お給料をたくさんもらいたい」という仲間の願いを実現す るために、皆様に広く空き缶回収のご協力をいただけますよう、下記のようにお願い いたします。

- ① はるの里まで持ってきていただく。
- ② お電話いただけましたら、回収に伺います。
- ③ ご提供いただく空き缶は、洗って乾いたキレイな状態でお願 いします。
- ④ スチール缶・ペットボトル・空きビンは回収対象ではありま せんので、取り除いてください。



コロナウイルスの影響でさまざまなことに制約があ りますが、仲間の仕事として空き缶回収を継続して います。ご連絡をいただけましたら、空き缶の回収 に伺います。

ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

寄付

(株) 朱常分店さま バナナ

永山さま マスク・図書カード

近藤さま 金一封

今西さま 金一封

山本さま 余一封

林さま 金一封

東島さま 金一封

菱山さま 金一封

(関係者分除く)

ありがとうございます。



今春から産休に入る職員がいるため、職員の募集 をしています。

障害のある方たちと一緒に楽しい日々を過ごして みませんか?

仲間(利用者)一人ひとりの人生の一部分に長く 深く関われ、過ごしていく上で難しいことに少しだ け手を添える、気持ちに寄り添う…そんなことがで きる職場です。

もちろん、楽しいだけではなく、悩んだり大変だっ たりすることもありますが、仲間や他の職員から元 気をもらえる、悩んでもいい、間違ってもいい、そ のままの自分でいられるそんな職場です。

ぜひ、私たちと一緒に笑いあえる毎日を過ごしま しょう!



雇用形態

正規

障害のある方への日中支援や送迎 業務内容

勤務時間 平日 8:30~17:00

土(第1、3)9:30~12:00

177.600円+諸手当 (4 大卒、短専門卒の場合)

運転免許(普通)AT 限定可

各種手当あり (資格、運転、住宅、扶養、交通費、退職金) 賞与年3回、4.5か月分(昨年実績)



雇用形態

パート

業務内容 障害のある方への日中支援

勤務時間 平日 9:30~15:40 土(第1、3)9:30~12:00

(時間、日数応相談)

920円+諸手当

各種手当あり (資格、交通費、運転)

賞与年3回 各人の勤務日数に応じて (昨年実績)

まずは見学からでも大歓迎です

生活介護事業所はるの里 075-394-5930

ります。 今ほど一刻も早いコロナ収束と誰もが大切 ん。本年もみなさまとご一緒に歩んでまい にされる社会が切望されるときはありませ ことと存じます。 違う緊張感のなかで新しい年を迎えられた みなさま方におかれ いたします。 まことにありがとうございます。 私どもはるの里を温かく支えていただ どうぞご指導のほど、 また、大変な中にも関わら まして は、 よろしくお願

コロナ禍でもみんなで 工夫した活動を

昨年1月中旬 に日本で新型コロナウイ

って予防に努めながら「一日が無事に終わ スがすぐ近くに存在するかもしれないと 思 という日々を重ねて 今冬の感染状況を前にウイ . ル

ません。 用心の上見合わせています。 や全体行事等は感染リスクがあると考え、 てワイワイと楽しむのがはるの 里らしい活 や療養がしにくい方が多く、 着用がむずかしい仲間も多くいます。 感染 などで直接の介助が必要だったり、 ぱいです。 のある日々 最優先にコロナ禍をずっと過ごしています。 してしまった場合、 大切ないのちをコロナ感染から守ることを "明けない夜はない』とは言うものの制約 障害のある仲間 いろんなところにいっぱい出かけ はるの里には食事やトイレ、歩行 がいつまで続くのか不安でいっ (利用者)や家族、 入院や隔離による治療 外食、うたごえ 不安でたまり マスク 職員の

すべ

仲間

しかった」「今できるやり方でやってみよう」 、出す達人ぞろいです。 そんな中でも仲間たちは楽しいことを創 「みんなに会えて楽

スに感染された方が出てから、

あっという るよう、 保障制度、 り添いつつ、 「プチ楽しい日々を」を合言葉に、笑い合え

がとう、これからも」の年に

あり

てくれているようです。

とともに

"春は必ず来るよ

と語りかけ

例年とは

う梅がマスク越しに感じるフワッと甘い香

えるのでしょうか。 散歩途中に見つけたろ

気持ちの

ĺ١

日が冬の

の醍醐味と

寒いながらもキリっとした青空がすがす

どんな時も、みんなと歩んで

かわりの中で豊かに人生の花を咲かしてい で未来を切り開く る彼女に40年分を語ってもらい、 ている仲間がたくさんの方々に支えられ んな年になることを願ってい 人暮らしを始めてもうすぐ2年。 はるの里が、 き年になります。 からうぶごえを上げて40年の記念 下京区の長屋の一角で二人 その時 ができる…そ から通い続け 人とのか みんな

施設長

る毎日が愛おしくてたまりません。 いる障害のある人たちの 圧きづらさ」に寄 コロナ禍を通じてより浮き彫りになって 声を届けていきます。 公的責任 が発揮される政治にな 困難な時ほど頼りになる社会

はるの里の新春

今年はコロナウィルスの影響で初詣に行くこと が出来ませんでした…

でも「行けないなら作っちゃえ!」ということでみんなではるの里神社を作りました(^^*)





毎年恒例の書初め♪♪

「今年は何を書こうかな~??」なんて言いながら、一人ひとり今年の抱負を書きました! みんなの願いが叶う一年になりますように。







~ 障害のある人たちがあたりまえに働きえらべるくらしを ~

きょうされん第44次

国会請願署名・募金運動にご協力ください!

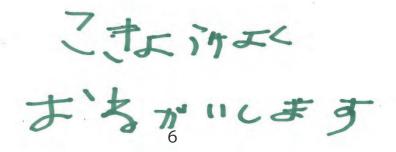
はるの里が加盟している「きょうされん」は、障害のある人が地域で安心して働き、豊かな生活を営める社会の実現を目指して、結成以来43年間一度も休まず「国会請願署名・募金運動」に取り組んでいます。

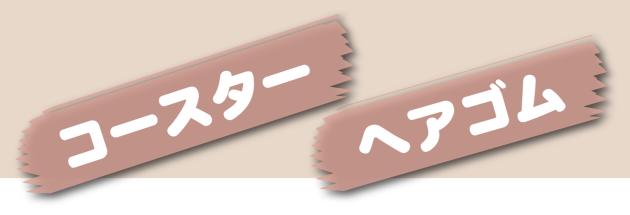
世界中で生命の危険と生活を不安に陥れる新型コロナウィルスの感染拡大は、収束の目途がたちません。コロナ渦において全国の事業所では様々な困難に直面しました。「もしも自分が感染したら...」「事業所でコロナの感染者がでてしまったら...」そうした不安の中で仲間・家族・職員が対策をとりながら日々実践に取り組んでいます。世界共通の傾向として、基礎疾患のある方、高齢者、生活困窮者の感染による重症化や死亡率は高く、そこには障害のある方も多く含まれています。もし障害のある方がコロナウィルスに感染し、入院した場合に支援者は入院している病院に入れなくなります。障害があっても安心して入院や療養ができるようにしていただきたいと願っています。第44次国会請願署名では、コロナ禍で直面する困難や不安を優先すべき課題として解決を求めています。全国の仲間たちとともに、今回の署名は『コロナに負けない』を合言葉に取り組みを進めています。

障害のある人もない人もわけへだてなく生きていける社会、あたりまえの暮らしを作り出していく社会をめざして、多くの方々とつながっていきたいと思います。皆様の一筆いっぴつが障害のある方の明日に繋がります。コロナ禍で皆様も大変な中だとは存じますが、第44次国会請願署名・募金運動にご支援ご協力を賜わりますよう、よろしくお願い申し上げます。

<署名の方法>

- 署名用紙はこの通信と一緒に同封しています。
- ・署名趣旨に賛同いただける方でしたら年齢による制限はありません。未成年の方も請願 することができます。
- ・国籍による制限はありません。日本国内に在住の外国の方も請願することができます。
- ・住所は都道府県からご記入ください。
- 署名用紙には10名分の記入欄がありますが、すべて埋まらなくても有効です。
- 期間は2021年3月末までに集めていただけますと幸いです。
- ・記入していただいた署名用紙は、お手数ではございますが、同封の返信用封筒をご活用していただき、 はるの里まで郵送していただけますと幸いです。
- ・募金にご協力いただける方は、同封の振込用紙をご活用ください。





を作って販売しました♪

かとルビ入れて

布の端切れをおもいつきり

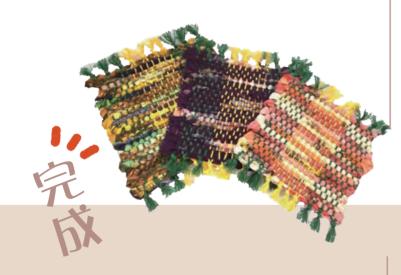




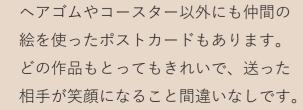








ポストカード



「自主製品」とは…

障害のある仲間たちがそれぞれできる ことを組み合わせ、1つ1つ手作りし た製品のことです。できあがった製品 を販売し、その売り上げを工賃やボー ナスとして支給しています。









ふりふりシェイク!



はるの里でも新型コロナウウィルスの影響を受け、唯一自主製品を販売していた「はるの里まつり」 が中止となり、仲間の作った製品を見ていただく機会を失いました。そこで冬のボーナス作りの物品 販売に合わせて仲間の製品紹介を行ったところ、多くの方に製品を知っていただき、たくさんの注文 をいただきました。毎日「大変だー!」と言いつつも、作業に取り組む仲間の表情は自信に満ちており、 慌ただしくも楽しく充実した日々を送ることができました。心配していた仲間のボーナスも物品販売 の売り上げを合わせて1人8,500円を支給することができ、このコロナ禍にも関わらず、とてもいい 取り組みを行うことができました。

上の写真はどんな風に仲間が製品つくりを行っているのかを紹介しています。